



〈本郷キャンパス〉

学校法人文京学院

文京学院大学外国語学部・経営学部・

人間学部・保健医療技術学部/大学院

/文京学院大学生涯学習センター

〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1

☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816

文京学院大学文京幼稚園

〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1

☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉

文京学院大学人間学部・保健医療技術学部

/大学院/文京学院大学ふじみ野幼稚園

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196

☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉

文京学院大学女子高等学校/文京学院

大学女子中学校

〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3

☎03-3946-5301

## 高校

## 高校生活の思い出となる校外学習企画が無事に終わりました！

現高校3年生は、コロナ禍の最も厳しい規制の下で学校生活を過ごしてきた学年です。経験できるはずの学校行事の多くが中止となり、2年生3月の修学旅行にも行くことができませんでした。そこで、教員と生徒が知恵を出し合って、修学旅行の代替えとなる2つの校外学習を年度を越えて企画し、この度、無事実施することができました。

1つ目は、「ディズニーアカデミーの受講とディズニーランド団体招待」です。抽選に当選し、5月16日にディズニーランドへ出発。あいにくの雨でしたが、仲良しの友だちと一緒に目的の乗り物に乗ることができ、思い出に残る写真もたくさん撮ることができました。

2つ目は、「選択式の3企画 ①熱海温泉コース、②相模湖プレジャーランドコース、③観劇『アナと雪の女王』コース」です。実施日の6月17日は、梅雨の最中の快晴の一日を大いに楽しむことができました。「選択式の3企画」について、生徒のコメントをご紹介します。

## 参加者のコメント

## [熱海温泉コース]

吉川 美羽(藤組)

この旅行は、準備から実現まで仲間と協力しながら作り上げた1日旅でした。私たちは、その旅を本当に楽しむことができました。この企画では、現地到着後すぐに自由散策を楽しむグループと、オプションの見学地である「MOA美術館」に立ち寄るグループを作りました。私は、MOA美術館の見学ができるコースに参加。行ってみると、その美術館の展示物は私たちが日本史の授業で学習したことのある実物の資料が展示されており、とても価値あるものを見ることができました。その後の熱海散策もとても楽しいものでした。

## [相模湖プレジャーランドコース]

諸田 亜美(杉組)

外部施設で、クラスの仲間たちと一緒に飯盒炊爨をするという初めての経験をすることができました。火おこしに始まり、みんなで食材を切り、味付けしたカレーライスの昼食は、一生の思い出になる経験でした。私は火おこしから始まるこの経験の楽しさにすっかり魅了され、またいつかキャンプに行き、キャンプ飯を作りたいと思っています。

## [観劇『アナと雪の女王』コース]

小柳 ゆず梨(梅組)

私たちのコースは午後半日の小旅行でしたが、劇団四季という、世界的に見ても最大規模の演劇集団が演じる最新の公演を見に行けることに大きな期待をしていました。私たちが希望したのは、ディズニー映画で有名な『アナと雪の女王』で、開演から終演まで2時間25分の公演です。オーケストラの生演奏のもと、最高の俳優たちが演じる迫力の演技に圧倒されながら、この公演を満喫することができました。

PHOTO GALLERY  
校外学習 フォトギャラリー

## 中学 大学

SDGs特別授業 外国語学部 甲斐田万智子ゼミ  
中学生へ“子どもの権利”を学ぶ機会を提供

外国語学部甲斐田万智子教授のゼミ生が制作し、一般販売されているSDGs教材シリーズ「世界の子ども権利かるた—みんなで知ろう! わたしたちのチャイルドライツー」を用いた特別授業が、6月14日に、文京学院大学女子中学校にて行われました。

中学1年生全クラスを対象に行われた授業当日は、「ジェンダー」「いじめ」「児童労働」の3つのテーマについて話し合いを行い、その後のかるた遊びを通して、楽しみながら子どもには様々な権利があることを生徒たちが改めて知る機会となりました。

子どもの権利について学ぶことは、生徒自身の視野を広げることにも繋がります。今後も、SDGsの観点からも楽しく学ぶ機会を作りたいと考えています。



真剣なまなざしでかるたに興じる生徒たち

## 参加者のコメント

## [授業を受けた生徒の感想①]

皆で楽しく人権のことを学べて、イラストや読み札も分かりやすく覚えやすいので、とても面白かったです。ジェンダーやLGBTQ、いじめのことなど、日本だけでなく世界中で問題になっていたり、注目されている事を詳しく知ることができて良かったです。特に、自分は児童労働のことについて興味を持ちました。私と同じくらいの年齢の子でも、日本の人口以上の子どもたちが働いて、学校にも行けていないという事が衝撃的で、自分たちが人権や法律によって守られているという事を実感しました。今回の授業だけではなく、今後も人権のことを学びたいです。

## [授業を受けた生徒の感想②]

かるたは幼い子どもがやるものだと思っていたが、かるたの内容を変えることで、中学1年生も存分に楽しめることが分かりました。世界の子どもの権利を題材としたかるたで、楽しみながら理解を深めることができました。ジェンダー、LGBTQ、いじめ、児童労働など、子どもの権利や人格については、これからの社会で今まで以上に大切になってくるものだと思うので、たくさんの知識を身に付けたいです。自ら積極的に人権やSDGsについて学んでいきたいと思います。

## [授業を行った外国語学部 3年生の感想]

私達が子ども権利かるたをつかった授業を行ったことによって、身の回りにある子どもの権利について考え直してくれた生徒が多くて、出前授業を行ってよかったと思う一方で、もっと意見を言い合う時間が取れたらよかったです。このような活動が広まって子どもたち自身が多様な考え方をもち、全ての人々が住みやすくなると良いと思います。

## GREEN SPIRITS



## 私たちの学校

中学校副校长 島田 美紀

2022年度4月より文京学院大学女子中学校副校长としての勤務が始まりました。元気いっぱいの中学生と共に、ワクワクドキドキする毎日を送っています。中学校時代は、人生に一度だけの大切な時間です。生徒のみなさんと一緒に素敵な毎日を送っていきたいと思っています。

この4月に、朝礼で三つの提案を生徒のみなさんにしました。

一つ目は、「ワクワクドキドキを探そう」です。部活、探究、グローバル、国際塾、授業等、何でもいいので、ワクワクドキドキするものを探してほしいと思っています。昨年、クリスマスコンサートの後で見せてもらったみなさんの素敵なお笑顔が忘れられません。今はまだ、ワクワクドキドキするものが見つからないという人も、ぜひ探してみてください。

二つ目は、「私たちの学校は私たちでつくろう」です。どうしたらもっと楽しい学校になるか、みなさん一人ひとりが考えてください。先日、中高の生徒会から学園祭についての提案がありました。一生懸命プレゼンする姿に、私たちも教員も感動しました。このように自分たちの意見を反映できる場が学校です。うまくいかなくとも失敗から多くのことが学べます。

なさんの挑戦を応援できる学校でありたいと思います。

三つ目は、「挨拶を交わそう」です。挨拶されると嬉しい気持ちになり、頑張ろうという気持ちもわいてきます。もっともっと挨拶が飛び交う明るい学校にしていきましょう。

これから更にグローバル化が加速し、多様性を認め合うことが当たり前になる世の中になっていくと思います。そんな世の中で、皆さんのが自分らしく、楽しみながら毎日を送れるように、英語を日常にする仕掛けやAJISとのプログラムを充実させることで、文京学院のグローバル教育も更に押し進めていきたいと思っています。みなさんと一緒に楽しい学校をつくりたいのです。

どうぞみなさん一人ひとりが積極的に私たちの学校づくりに参加してください。

大学

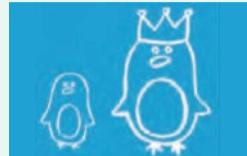
## 後輩に伝える体験談「てっぺンフォーラム」開催

ふじみ野キャンパスでは6月25日、本郷キャンパスでは7月6日に「てっぺンフォーラム」が3年ぶりに対面で開催されました。上級生が下級生に向けて、様々な体験や想いを伝えることで、毎年多くの学生が「スイッチ・オン」し、それぞれの「てっぺン」に向けて邁進。今年も同実行委員会メンバーと発表者が協力し合い、充実したフォーラムを実現しました。以下に、受賞者の発表内容やコメントを掲載します。

### ふじみ野キャンパス



写真左から  
【学生実行委員長】  
松岡 達也（人間学部児童発達学科3年）  
【同副委員長】  
伊東 花菜（同学部児童発達学科3年）  
【司会】  
玉川 真優（同学部人間福祉学科2年）



ふじみ野キャンパスキャラクター「てっぺんじん」

### 本郷キャンパス



写真左から  
【学生実行委員長】  
高瀬 安衣子（経営学部3年）  
【同副委員長】  
諏訪 里梨愛（同学部2年）



本郷キャンパスキャラクター「てんてん」「べんべん」

### スイッチ・オン賞



#### 「まちラボ」

（写真左から）  
室井 孝太（人間学部児童発達学科2年）  
石田 健次郎（同学部人間福祉学科2年）  
小川 紗奈（同学部心理学科2年）



#### 人間学部人間福祉学科3年 林 成信



#### 人間学部児童発達学科4年 （写真左から） 倉田 翼 鹿濱 優斗

実習先の方の「学生時代は様々な経験をしておくことが、福祉の現場で様々なバッケージラウンドを持つ利用者とのコミュニケーションに有効である」という言葉に刺激を受けて、多くの活動に取り組んできました。中でも埼玉県東上地域の大学連携体であるTJUPという団体で、他大学の学生と共同で地域活性化のプロジェクトに取り組んできた経験を紹介しました。学内外のプログラムをきっかけにして、自分から動き出すことの大切さとやる気を維持する方法について伝えました。

2人は五街道ウォーク実行委員会に所属しており、コロナ禍で何度もイベントが中止となり心が折れそうになることも多かったです。現在は、この夏の実施に向けて準備を進めています。行程を計画し、参加者のニーズを把握して共有することに苦労しています。そんな活動を通じて、人前に立つ力・協働する力・物事を組み立てる力の3つを身につけていく様子を2人のかけ合いで楽しく発表しました。



#### B-GR(27名) （写真左から） 【代表】松尾 美喜（経営学部3年） 【発表者】河野 袖果（同学部4年） 【発表者】菊島 理沙（同学部3年）

昨年度実施したB-GRの活動ではコミュニケーションの大切さや、自分を大切にするなど、多くのことを学ぶことができました。研修や活動での経験を今後の成長に生かしていきたいです。

今回の発表がB-GRという活動に興味を持つだけでなく、何か行動を起こすきっかけになると嬉しいです。



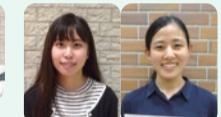
#### 新田ゼミ 関口 鈴乃（経営学部3年）

1年かけて計画的に勉強を行い、韓国語の資格を取得して、留学の切符を手に入れることができました。実際に現地を訪れることで、韓国人の温かさや、日本が愛されていることを肌で感じ、なんでも挑戦してみたことで、充実した留学生活を送ることができ、自慢できる経験をたくさんすることができました。



#### AnimeJapan椿班 （写真左から） 萩原 勢那（経営学部3年） 東屋 哲大（同）兵動 樹凪（同） 筒井 菜美（同）鈴木 史香（同）

インドの方々とのオンライン交流会を企画・実施し、本学ショーケースでは、手作りの椿ランタンを展示・披露する形で、椿ランタンの魅力を発信。また展示場所の前を通る地域の方々にも椿ランタンの魅力を伝えることを努めました。そしてプロジェクトを通しての成果や気づきなどを経て大きく成長したからこそ、「何かに取り組むことの大切さ」を伝えたいと思いました。



#### 公野ゼミ チーム蒼穹 （写真左から） 赤野 汐梨（経営学部4年） 徳永 莉子（同）

ゼミは「職務実践」型ですが、私たちが挑戦したのは映画配給です。配給とは映画を映画館に営業して興行までこぎつけ、そしてその映画の宣伝を行う重要な職務です。

今回、私たちは何期も前の先輩たちが制作した映画を映画館へプレゼンテーションして興行期間を策定、その初日に合わせて種々のマーケティングを行いました。

### てっぺん賞



#### 保健医療技術学部 理学療法学科3年 助川 菜々花



#### 人間学部 心理学科3年 染谷 颯季



#### 保健医療技術学部 臨床検査学科4年 大滝 浩生



#### 保健医療技術学部 作業療法学科2年 安藤 優花



#### 渡部ゼミ 日本語チーム 村井 里緒 (外国语学部4年)

高校時代に公募制留学プログラムの選抜試験を突破し、ボルネオ島で初めてのホームステイを経験しました。病気のため中学時代はほとんど車いす生活となり健康の大切さを実感したので、大学時代は様々なことにチャレンジをしてきました。今後は、大学の留学プログラムにも参加し、将来は発展途上国で理学療法士になることや、日本での災害リハを目標にしています。小さなきっかけや興味の種を見逃さずに行動することの大切さを伝えました。

中学生の頃は、ゲーム漬けの生活でしたが、ゲーム音楽をきっかけに、社会人の吹奏楽団に参加しました。様々な職業や年齢層の方とのコミュニケーションを通じて視野も広がり、人とつながりの大切さを感じるようになりました。その過程で得られた人間関係の築き方、コミュニケーションの取り方のヒントを説明しました。学生時代だからこそ積極的にコミュニケーションをとり、失敗してもそこから学ぶことの大切さを伝えました。

臨床検査技師は、新型コロナウイルスのPCR検査で注目されている仕事ですが、検査の様子など他学部の学生にもわかりやすく説明しました。統いて学科の後輩に対して講義を受ける時のポイント、ノートの取り方、実習での注意事項など具体的な話や、特に4年次になって1年次の知識が必要となり積み重ねが重要である、とアドバイスをしました。専門職の勉強に不安を感じている1年生にも、学生生活のイメージが明確になり、勇気づけられる発表を目指しました。

小学校2年生の頃より、書道を続けています。最初は、細かい字を書く臨書に取り組んでいましたが、高校生の時に病気のため小筆をもつことが難しくなっていました。そこで、新たに大きな筆を使う書道パフォーマンスに転換することにしました。実際に、迫力のあるパフォーマンスも披露し、自分が好きなことを極めることにより、充実感を感じたり気持ちを落ちつかせることができる話し、豊かな学生生活を送る大切さを伝えました。

大学

## セルフディフェンス啓発キャンペーンを ふじみ野キャンパスにて実施

6月22日、東入間警察署・埼玉県警察本部サイバー犯罪対策課・ふじみ野市役所と連携して、痴漢被害防止と、大学生を取り巻くインターネット犯罪被害防止を目的とした“セルフディフェンス啓発キャンペーン”が本学ふじみ野キャンパスにて行われました。

本キャンペーンは、痴漢被害が増加する夏を迎える前に、今後の防犯の担い手になる世代の防犯意識の向上を図ることを目的に、本学で実施されました。セルフディフェンスとは、被害にあわないために防犯対策を自身で学ぶことで、本キャンペーンでは、急増するインターネット犯罪に関して自己防衛の重要性の呼びかけも同時に行われました。

キャンペーン当日は、埼玉県警察マスコットキャラクター「ポップくん」とふじみ野市PR大使「ふじみん」が参加し、警察官/ふじみ野市役所職員/本学学生/東入間防犯・暴力排除推進協議会が協力し、4種の被害防止チラシ及び啓発品を学生に配布しながらキャンペーンを実施しました。



当日配布されたチラシ



キャンペーン当日の様子



インターネット犯罪について警察官からレクチャーを受ける学生

### 参 加 し た 学 生 の コ メ ン ト

#### 辻 碧妃（人間学部児童発達学科2年）

キャンパス内で、今回のような自分たちに関わるキャンペーンを実施してくださると、チラシも受け取りやすいですし、警察官の方からのセルフディフェンスの話も、友人と一緒に聞くことができてとても良かったです。

#### 高橋 莉々果（人間学部児童発達学科2年）

埼玉県警察本部サイバー犯罪対策課の方から教えていただいた詐欺サイトの見分け方は、とても参考になりました。警察官の方から直接ネット犯罪の巧みさと怖さと見抜く方法を教えていただき、大変勉強になりました。

#### 古川 花朋（人間学部人間福祉学科3年）

今回セルフディフェンス啓発キャンペーンのボランティアとして参加しました。同じキャンパスに通う学生に配布するのは緊張しましたが、マスコットキャラクターのかわいさもあってか、多くの学生が気軽に受け取ってくれて、大変有意義なキャンペーンになったと思います。この時期に学生にセルフディフェンスを啓発できて大変良かったです。

### 【お詫びと訂正】

6月30日発行第778号3面「オアバジャパンインターナショナルスクールとのコラボパッチ制作」記事の「山中華奈さんの作品が～」は、「米山佳歩さんの作品が～」の間違いです。訂正してお詫びします。

## tomoちゃん

第84回 画：美術部（中3）K

